

## 地場産小麦を活用した農商工連携による「喜多方ラーメン」づくり

福島県喜多方市は、「蔵のまち」「喜多方ラーメン」として全国的に有名であり、年間 170 万人の観光客が訪れる観光都市である。特に、ラーメン関連産業は農業と並ぶ重要な産業であるが、この 2 大産業の結びつきは弱く、地産地消の観点からの地場産業への新たな魅力づくりの取り組みが必要と考えられた。一方、農業では、耕作放棄地が年々増加し、平成 17 年度には耕地面積の 12.5%を占め、抜本的な解消対策が大きな課題となっていた。

このため、普及所では、地場産小麦「ゆきちから」を「喜多方ラーメン」に利用することが、耕作放棄地の解消と地域振興策に効果的であると考え、農商工連携によるプロジェクトチームを結成して、「ゆきちから」の栽培拡大に取り組んだ。農業総合センターと連携して栽培実証ほを設置し、ラーメン適正の高い小麦の栽培技術を確立するとともに、栽培推進と栽培管理の指導徹底を行った。その結果、平成 20 年度の栽培面積は、ラーメンに換算して 12 万食分に相当する 16.4ha まで拡大した。

今後も普及所では、地場産「ゆきちから」による「喜多方ラーメン」全食の提供を目指して、小麦の栽培推進と農商工連携のコーディネート役を担うこととしている。

「ゆきちから」の生産状況

	15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年
作付面積 (a)	95	91	333	905	1,219	1,637
生産量 (t)	2.2	3.2	9.4	20.1	35.3	40.0
販売食数 (千食)	—	1.49	1.69	60	100	120